

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8343
担当部課名	保健所	地域保健	課	総務医事 班
事務事業名	献血推進事業		事業コード	12310

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	~63
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

採血及び供血あつせん業取締法

3 事業概要

(1) 事業の目的	(2) 対象(誰、何)
医療に必要な血液を献血により確保するため、献血思想の普及を図り、もって地域住民の健康と福祉に寄与する。	16~69歳の健康な方(65~69歳の方は60~64歳の間に献血経験が必要)
	対象数
	計測不能
(3) 平成13年度事業の内容	(4) 総合計画・実施計画における概要
企業・各種団体(ライオンズクラブ等)の協力のもと献血車を配置し、血液供給体制の確保を図った。13年度の目標採血量は2,976リットルに対し、実際の採血量は1936.6リットルであった。 総事業費 2,087千円 需要費 2,087千円	なし
	(5) 個別計画の概要
	計画名 なし
	計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	採血量達成率
指標式	相模原市での献血車採血量 / 県から通知のあった献血目標量 × 100
指標設定の意図	達成率を知ることにより、より効率的な採血をめざす。

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 65.1	b 100.0		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	2,201	2,115	2,088	2,364	1,871
	人員・時間数	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0
	人件費	16,840	8,420	16,840	16,840	16,840
	その他経費					
	合計	19,041	10,535	18,928	19,204	18,711
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 C ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 65.1%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{65.1}{100.0} \times 100 = 65.1\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	献血会場は企業・団体の協力で多いが、1回あたりの人数が少なく目標の達成には及んでいない。また、一般の市民を対象とした献血(街頭献血)の会場については年々減少しており、協力者も少なくなっている。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	医学の進歩につれて血液製剤の使用は増大しており、血液製剤のうち全血製剤と血液成分製剤については、全て献血でまかなわれていることから事業内容については適応していると思われる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	献血は人の善意で行っていただくものであり、費用対効果について判断するのは困難である。ただし、協力していただいた方には記念品等を渡しているが、このことについては妥当と思われる。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	新法も検討されており、その中で献血センター及び自治体との役割分担が議論されており、市が実施できる部分は実施していくことが適当と思われる。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 :	献血事業は、献血をしてくださる人の善意に支えられているので献血してくれた人は満足できていると思われる。しかし、善意があっても実施会場が少ない、時期が合わないなど全ての人の要望に答えられていないのも現実である。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	年々増加する血液需要に対応するためには献血の実施は必要不可欠である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 献血についての理解を深めてもらうことによって成果の向上は可能である。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 啓発物品の種類によってはコストダウンは可能である。

7 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	相模原市は人口は多いものの街頭献血の会場が少ない(6ヶ所)ため、達成度については他市町村にくらべ、劣る部分もある。新規街頭献血会場の確保が必要である。
	<p>今後の進め方</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
		説明	新たな会場の確保とともに、献血についての理解を深めてもらい献血協力者をさらに増やしていかなければならない。

8 二次評価における変更点

--